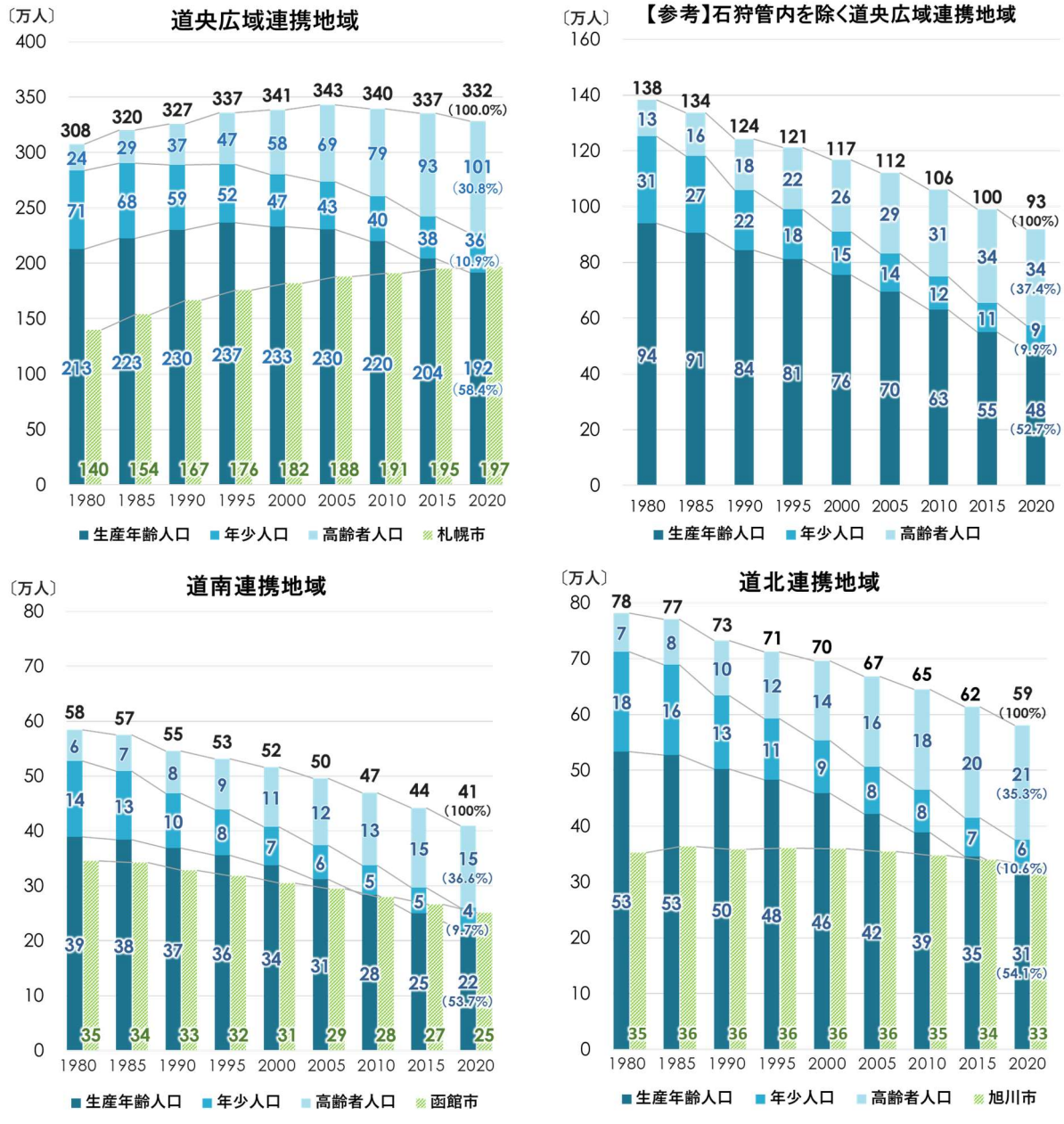
4 連携地域別の人口動向

（1）総人口及び年齢３区分別人口の推移

連携地域別の人口動向をみると、道央広域連携地域と十勝連携地域の２つの連携地域では、1980（昭和 55）年以降に人口のピークを迎えているが、道南連携地域、道北連携地域、オホーツク連携地域、釧路・根室連携地域の４つの連携地域では、それ以前にピークを迎え、人口減少が続いている。

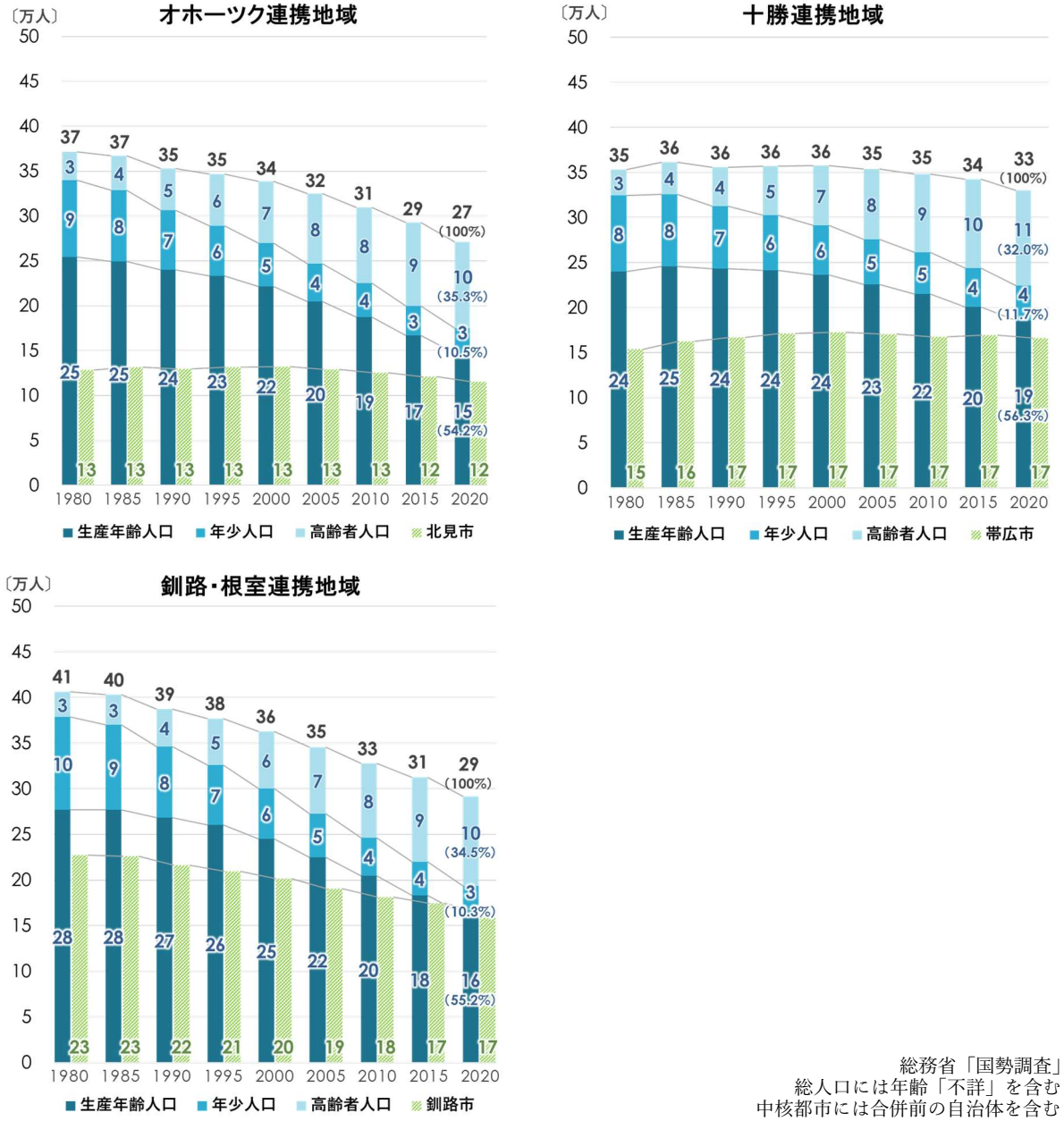
また、いずれの連携地域でも年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15～64 歳）は減少が続いているが、高齢者人口（65 歳以上）は増加しており、2020 年（令和２）年では、道南連携地域、道北連携地域、オホーツク連携地域において高齢者人口の割合が 35%を超えている状況にある。

総人口及び年齢３区分別人口の推移（連携地域別）



総務省「国勢調査」
総人口には年齢「不詳」を含む
中核都市には合併前の自治体を含む

年齢３区分別人口の推移（連携地域別）



総務省「国勢調査」
総人口には年齢「不詳」を含む
中核都市には合併前の自治体を含む

（２）自然増減及び社会増減の推移

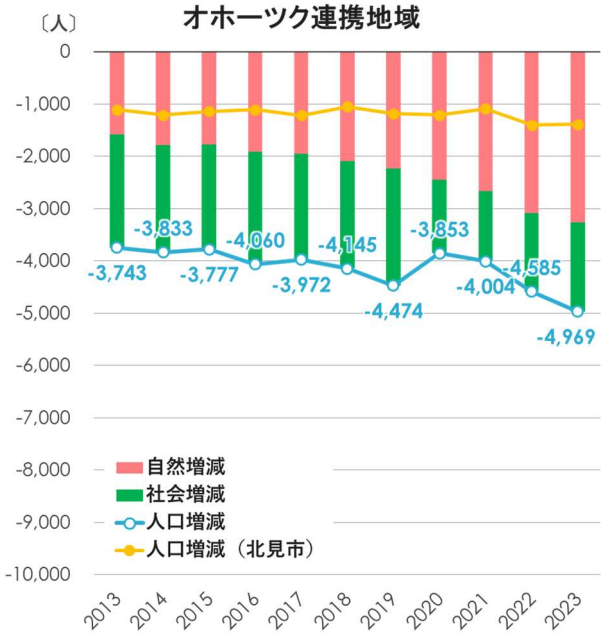
道央広域連携地域では社会増が見られるものの、その他すべての連携地域において社会減が進行している。ただし、十勝連携地域は他の連携地域に比べ、社会減が抑制されている。

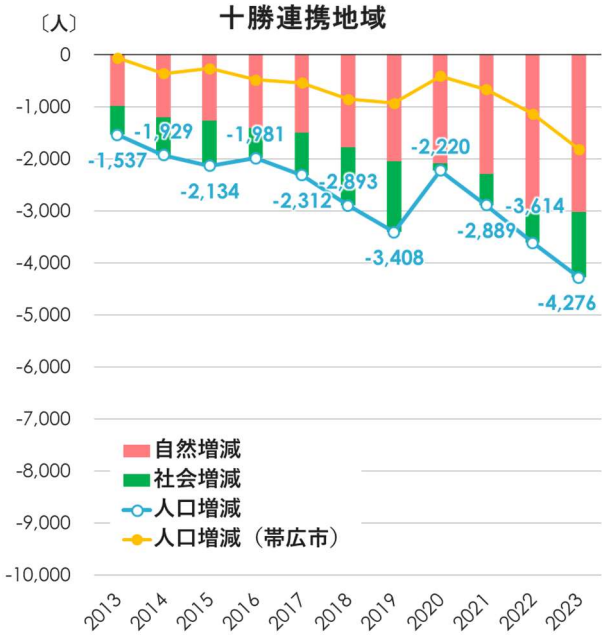
一方、近年は社会減は抑制されているものの、自然減は引き続き増加傾向にあり、道央広域連携地域においても自然減が社会増を大きく上回っている。

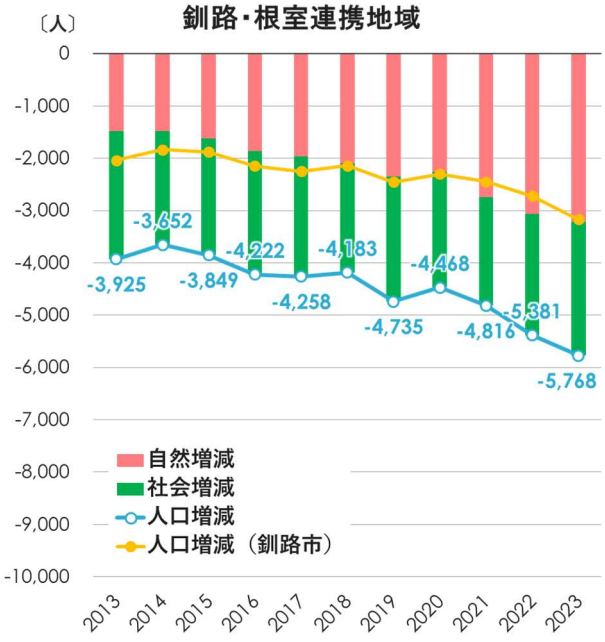
自然増減数及び社会増減数の推移（連携地域別）

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（日本人のみ）

自然増減数及び社会増減数の推移（連携地域別）







総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
（日本人のみ）